

## 2019 年度宮城県災害医療従事者研修会を実施しました (2019/6/29)

テーマ：災害時の保健医療福祉のコーディネート  
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

2019年6月29日(土)、宮城県仙台市の東北大学災害科学国際研究所において2019年度宮城県災害医療従事者研修会が実施され、県内の災害医療関係者（医療従事者、宮城県庁含む行政職員、保健所職員、消防職員など）120名が受講しました。

この研修会は、宮城県庁より業務委託されたNPO法人災害医療ACT研究所が実施する県内の災害保健医療福祉従事者向け研修の一つで、各セクターの第一人者から災害保健医療福祉やコーディネートに関する最新の知見について講義を受け網羅的に学習できる一日研修会となっています。今年度から文部科学省補助金事業「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」との共催となり、プログラム運営企画委員会委員・実習コーディネーターを務める佐々木宏之助教（災害医学研究部門災害医療国際協力学分野）が会場責任者として運営にあたりました。

災害時の保健医療福祉は、発災急性期の対応のみならずその後長期に渡る被災地住民の健康管理、そして現地の従来の保健医療福祉体制への引き継ぎが重要となります。また災害対応体制の進化により、さまざまな職種の支援者が迅速に被災地に入るようになりました。そのため、発災当初からハンドオーバー（引き継ぎ・撤収）を見据えた支援調整（コーディネート）業務がとても重要視されています。

当日は災害医療コーディネーター（県・地域）、公衆衛生、防衛、災害時小児周産期リエゾン、DMAT、日本赤十字社、薬剤師、保健行政・保健所、深部静脈血栓症対応、原子力対応などの関係者から、各セクターの基本事項、過去の災害対応、現在までの変遷について幅広く解説して頂きました。今後も災害科学国際研究所では災害時の保健医療福祉に実践的に関わる人材育成の中心となるべく、研修会などを催していきます。

時刻	内容	所属	氏名
8:30 ~ 8:30	受付		
8:50 ~ 9:00	開会挨拶		
講義1 9:00 ~ 9:20	災害時の保健医療コーディネート	山形県立中央病院 副院長	森野 一真
講義2 9:20 ~ 9:40	災害時の保健医療コーディネートの計画と実施：県庁	岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 教授	真瀬 智彦
講義3 9:40 ~ 10:00	災害時の保健医療コーディネートの計画と実施：二次災害圏(市)	東北大学 総合地域医療支援部 教授	石井 正
10:00 ~ 10:05	休憩5分		
講義4 10:05 ~ 10:35	スフィアプロジェクト	宮崎大学医学部看護学科 教授	原田奈穂子
講義5 10:35 ~ 10:55	行動計画	防衛医科大学校 防衛医学講座 教授	清住 智郎
10:55 ~ 11:05	休憩10分		
講義6 11:05 ~ 11:25	災害時における経産婦、母子支援の実例	神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーションスクール研究科	吉田 穂波
講義7 11:25 ~ 11:45	DMAT派遣と受け入れ計画と実施	大崎市民病院 救命救急センター長	山内 聡
講義8 11:45 ~ 12:05	救護班の派遣と受け入れ実施	厚生労働省 消防庁 消防救急課長	丸山 嘉一
12:05 ~ 13:05	昼食60分		
講義9 13:05 ~ 13:35	被災地における業務供給	石巻医師会副会長	丹野 佳祐
講義10 13:35 ~ 14:05	自治体等による被災地被災地への公衆衛生支援講演	川崎市健康福祉部 川崎市立看護専門学校	坂元 晋
14:05 ~ 14:15	休憩10分		
講義11 14:15 ~ 14:45	被災地での保健師の役割	石巻市健康部健康推進課 保健師	高橋 由美
講義12 14:45 ~ 15:15	災害後の深部静脈血栓症の動向から見た経路確保	石巻赤十字病院 副院長	樋田 佳哉
15:15 ~ 15:25	休憩10分		
講義13 15:25 ~ 15:50	地域包括ケアと災害時対応	千歳安部保健所 所長	松本 良二
講義14 15:55 ~ 16:15	原子力災害への対応の実態	量子科学技術研究開発機構	明石 真吾
16:15 ~ 16:30	終了式		



（左：研修会プログラム。右上：講義を受ける宮城県内の災害保健医療福祉関係者。右下：講演する森野一真災害医療ACT研究所理事長（山形県立中央病院副院長））

文責：佐々木宏之（災害医学研究部門）